

講習会 開催報告

2021年度医療福祉連携講習会に参加して

まちの保健室運営 看護師 永津 八代子

2021年9月4日に開講式を迎えた今回の医療福祉連携講座は、未曾有の出来事ともいえる新型コロナウイルス感染症の



会場風景

パンデミックの中でした。恐らく、事務局も受講生もweb研修は初めての企画と思います。中でも、実習は実践場面がないレポート提出を余儀なくされました。幸い、5クルールのグループワークは11期生仲間と初めて対面、発表ではそれぞれの考えを聞くことができ有意義な時間でした。

私は、医療福祉連携に関心を持ち、視野の広い知識を求めワクワクしながら申し込みをしました。予想していた通り、講義内容は幅広く、専門性の高い講義内容でした。医療計画から、医療経営、クリティカルパス、福祉概論から在宅看護論など多岐にわたって学びました。グループワークのテーマ「円滑な医療福祉連携を実行するためには何が大切か」では、解決策についてKJ法で絞っていきました。病院から施設・在宅など顔の見える新たなシステムづくりの重要性を再認識出来たことは貴重な学びです。

私は地域でまちの保健室を立ち上げ1年が過ぎます。病院に行くほどではないが健康に不安がある方の相談を受けています。病診連携室の役割も周知できていない状況も知りました。講義での学びを活かし、少しでも地域支援の一環となることを願っています。最後に、感染状況の中、ご尽力いただいた先生方、事務局の方に感謝申し上げます。

2021年度医療福祉連携講習会に参加して

医療法人かつき会香月病院医事課・地域連携室

吉岡祐江

私は長年医事課職員として仕事をしてきました。そんな私が地域連携に関わるとは・・

当時、「地域連携に関わる知識を体系的に学べる機会があれば・・」とっておりましたがその頃はまだこの

講習会の存在を知らませんでした。

しかし、とある研修会に参加した際にこの講習会を受講し、地域や全国区で活躍されている医療福祉連携士の存在を知ることとなります。

その中には看護師、MSWはもちろんのこと、事務職の方もいらっしゃいました。

先輩方の話を聞かせていただく中で、また現在の勤務先で再度、連携業務に関わらせていただく機会を得たのを契機に受講を決めました。

私は事務職のため免除科目はなく、すべての講義を受講しました。特に医学系・介護・看護論については前方連携業務に活かすことができ、先方からも「事務職なのによくご存じですね」とコミュニケーションツールの一つにもなっています。また自院でのベッドコントロールにおいても、「地域包括システムの中での患者様の生活と暮らし、そして医療・介護の関わり」を意識して提案することができるようになってきたと感じています。

何より事務職でも体系的に知識・スキルを身に着けることによって、患者様を地域で支えるという使命の一助となり得ることを実感できているのが大きな喜びです。

これからは講習会で得た知識をもとに、さらに研鑽を積み患者様、そして連携に関わる医療職のお役に立てるようなサポートを目指します。

支部学術集会開催報告

第21回北海道支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人恵佑会札幌病院上席顧問

鈴木康弘

2022年10月8日(土)、「変革が織り込まれた診療報酬改定」～働き方と医療マネジメント～をテーマに、学術集会を開催しまし



会場風景

た。参加者は現地参加75名、Web参加21名、合計96名の方にご参加をいただき、盛会のうちに終了いたしました。